

【概要】

2014年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【民間住宅ローン利用予定者編】(第1回)

I 調査の概要

今後5年以内に、住宅を取得する計画があり、かつ、民間住宅ローンを利用する予定の方を対象にして、住宅取得に向けた意識や行動、利用予定の住宅ローンの金利タイプなどについて、インターネットによるアンケート調査を2014年6月に実施し、その結果を取りまとめたものです。
(回答数:1,024件)

II 調査結果の主なポイント

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 希望する住宅ローンの金利タイプは「固定期間選択型」が増加<p.2>

- ・「固定期間選択型」の希望割合は42.9%(前回調査:38.2%)と増加した。
「変動型」は24.8%(前回調査:23.9%)と大きな変化はなく、一方、「全期間固定型」は32.3%(前回調査:37.9%)と低下した。

2 住宅の買い時意識は増加<p.6>

- ・今(今後1年程度)は住宅取得のチャンス(買い時)だと思う方の割合は、42.2%(前回調査:34.0%)に増加した。
- ・買い時だと思う理由は、「住宅ローン金利が低水準だから」、「消費税率引上げ前だから」が、前回調査と比較して増加幅が大きい。

3 住宅取得に当たっては「耐震性能」、「価格・費用」を重視する方が多数<p.10>

- ・住宅取得時に特に重視するものとして、「耐震性能」、「価格・費用」が引き続き上位である。
- ・住宅取得時に「立地(災害などに対する安全性)」を重視する方のうち、その内容として「地盤が強固な土地にする」と回答した方の割合が62.3%と圧倒的に多い。<p.13>